

令和 7 年 2 月定例会

予算決算委員会資料
(産 業 振 興 部)

農業経営等復旧・再開支援対策事業について

1 事業目的

令和 6 年の大雨により被害を受けた、農業者の再生産に向けた取組を支援するもの

2 事業内容

(1) 大豆の種子購入支援 594 千円

ア 対象者 減収率 20% 以上のほ場を 1 ha 以上有する農業者等

イ 助成対象 種子の購入費

ウ 補助率 県 1 / 3 以内、市 1 / 3 以内

(2) 園芸作物の種苗等購入支援 1, 141 千円

ア 対象者 減収率 20% 以上のほ場を有する農業者等

イ 助成対象 種苗の購入費

ウ 補助率 県 1 / 2 以内、市 1 / 3 以内

3 事業費

1, 735 千円（県 982 千円、一財 753 千円）

（内訳） 補助金 1, 735 千円

※令和 6 年 9 月議会で債務負担行為設定済み

4 事業スケジュール（予定）

令和 7 年 1 月 申請受付

令和 8 年 2 月 事業完了

〃 3 月 補助金交付

都市農村交流促進事業について

1 事業目的

都市と農村の交流促進や農山村地域の活性化を図るため、体験ツアーの実施や農山村地域の新ビジネス創出に対する支援を行うもの

2 事業内容

(1) 都市農村交流の促進 3,377千円

県外居住者を主な対象とした農山村地域の多様なコンテンツを体験するツアーの実施や参加者への交通費補助等

(2) [新]未来へつなぐ元気な農山村創造事業(県)活用団体への助成 6,182千円

県の補助事業を活用し、河辺鵜養地区の地域団体が米や原木しいたけを生産するための施設整備や販促活動に対し支援するもの

ア 対象者 鵜養地域団体および団体会員事業者

イ 補助率 県1/2 市1/12

ウ 事業実施予定者

(単位：千円)

事業名	事業主体	事業内容	事業費 (税抜)	負担区分		
				県補助	市補助	事業主体
元気な農山村創造プラン 策定事業	鵜養地域団体	・協議会の運営 ・ワークショップ開催 ・アドバイザー招聘 ・先進地視察	600	300	50	250
農山村発新ビジネス 創出事業	鵜養地域団体 会員事業者	農薬不使用の米 ・精米所建設 ・色彩選別機購入 ・販売促進活動	5,000	2,500	416	2,084
	鵜養地域団体 会員事業者	原木しいたけ ・加工所、販売所の建設 ・生産機械の整備 ・販売促進活動 ・原木の調達	5,000	2,500	416	2,084
合計			10,600	5,300	882	4,418

3 事業費

9,559千円（県5,300千円、一財4,259千円）

（内訳） 報償費 140千円

旅 費 194千円

需用費 3千円

委託料 2,500千円

補助金 6,722千円

遊休農地再生利用事業について

1 事業目的

県補助事業を活用し、雑草や病害虫の発生など周辺の営農環境に悪影響を与える恐れがある遊休農地を解消することで、優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化を促進するとともに、経営が不安定な新規就農者の負担軽減を図るもの

2 事業内容

- (1) 対象者 認定農業者、認定新規就農者
- (2) 対象要件
 - ・遊休農地、又はそれに準ずる農地であること。
 - ・所有権を移転、又は利用権を設定すること。
 - ・事業完了後 3 年以上耕作すること。
 - ・耕作可能な一団の農地の合計が30a以上となること。
- (3) 対象経費
 - ・遊休農地解消に要する経費
 - ・営農定着、条件整備に要する経費
- (4) 補助率
 - ・認定農業者 県 1 / 4
 - ・認定新規就農者 県 1 / 4、市 1 / 4
- (5) 事業実施予定者

(単位：千円)

対象者	人数	面積 (a)	事業費 (税込)	事業費 (税抜)	負担区分			
					県補助	市補助	計	事業主体
認定農業者	1	10	198	180	45	0	45	153
認定新規就農者	3	80	1,584	1,440	360	360	720	864
合計	4	90	1,782	1,620	405	360	765	1,017

3 事業費

765千円（県405千円、一財360千円）

（内訳） 補助金 765千円

4 事業スケジュール（予定）

令和 7 年 4 月 申請受付

令和 8 年 2 月 事業完了

〃 3 月 補助金交付

有害鳥獣駆除捕獲対策事業について

1 事業目的

ツキノワグマ等による農作物や人身被害を防止するため、「秋田市鳥獣被害防止計画」に基づき、秋田市鳥獣被害防止対策協議会、県、警察等と連携を図りながら被害防止対策を実施するもの

2 事業内容

(1) 有害鳥獣駆除捕獲活動 7,165千円

- ・秋田市鳥獣被害防止対策協議会への交付金
- ・狩猟免許取得費用の補助、賠償責任保険等

(2) 有害鳥獣捕獲対策品の購入 1,711千円

クマ等が出没した際の動向確認、追い払いや捕獲するための対策品

(単位：千円)

品 名	数 量	事業費	備 考
自動撮影カメラ	5 台	1,259	通信費等含む
防護ヘルメット	8 個	80	フェイスガード付
耐刃手袋	2 双	42	
木製警杖	2 本	9	
箱わな	1 基	130	イノシシ・ニホンジカ捕獲用
その他対策用品	1 式	191	看板、スプレー、玉網
合 計		1,711	

(3) 緩衝帯等整備 2,299千円

野生鳥獣の出没を抑制するため、草刈り等を実施（桜台地区）

3 事業費

11,175千円（県6,369千円、一財4,806千円）

(内訳) 需用費 812千円
 役務費 160千円
 委託料 2,150千円
 使用料 498千円
 備品購入費 730千円
 補助金 60千円
 交付金 6,765千円

【参考】有害鳥獣の目撃・捕獲状況

(単位：件、頭)

年度 獣種	R 3		R 4		R 5		R 6 (R7.1月末時点)	
	目撃等	捕獲	目撃等	捕獲	目撃等	捕獲	目撃等	捕獲
クマ	170	39	176	29	780	171	341	33
イノシシ	9	-	33	1	30	8	71	17
ニホンジカ	10	-	30	1	13	3	38	7
小動物	119	96	112	80	126	51	108	37

デジタル人材 A ターン就職促進事業について

1 事業目的

デジタル人材のふるさと回帰の促進を図るため、県外在住の学生や社会人を対象に市内 I T 企業とのマッチングイベントを開催するもの

2 事業内容

- (1) 開催場所 東京都・仙台市（各 1 回）
- (2) 参加企業 市内 I T 企業 5 社程度
- (3) 対 象 者 I T 企業への就職を検討している学生および社会人 2 0 人程度
- (4) 内 容 企業担当者による事業紹介、個別説明など

3 事業費

421 千円（一財 321 千円、諸収入 100 千円）

（内訳） 需用費 90 千円
役務費 308 千円
使用料 23 千円

4 事業スケジュール（予定）

令和 7 年 6 月 参加企業の募集開始
〃 8 月 事業周知、参加者の募集開始
〃 1 1 月 開催



【参考】東京開催を予定している県有施設「アキタコアベース」

卸売市場再整備手法の見直しに伴う技術支援経費について

1 事業目的

卸売市場再整備については、概算事業費の大幅な上昇に伴い、事業費縮減のため技術支援業務を委託し、以下の方向性により再整備基本計画の見直しを行うもの

見直しの方向性

- ・総事業費の縮減を図り、市場使用料の上昇抑制を目指す。
- ・建て替えや既存施設の活用などを含めた幅広い検討を行う。
- ・物流効率化や温度管理機能等の取り組むべき事項についても、市場内事業者の意向を踏まえつつ優先度を検証し、機能向上を図る。

2 再整備手法見直しに伴う技術支援業務

(1) 予算額（全額一般財源） 委託料 14,410千円

(2) 業務内容

ア 再整備手法見直し案の作成（配置図、平面図等）

イ 概算事業費の算出

ウ 事業スケジュール、発注方式の検討

（参考）再整備基本計画の改定スケジュール（案）

令和7年6月 再整備手法の見直し方針案の作成

令和7年12月 再整備基本計画改定版（素案）の作成

令和8年1月 パブリックコメント

令和8年3月 再整備基本計画改定版策定